

特集2
special feature

水分を減らして、ごみ減量!

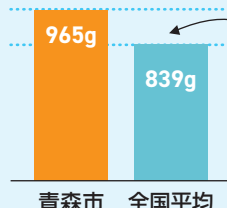
青森市環境保全
シンボルキャラクター
「エコル」

青森市のごみの中でも、特に多いのが「生ごみ」です。生ごみは水分を多く含むため、重くなつてごみ出しの負担が増えるだけでなく、嫌なにおいの原因にもなります。また、収集作業の効率や清掃工場での燃焼効率が低下し、ごみ処理費用や地球環境への負担にもつながります。ごみ減量のために、「使いきる・食べきる・水気をきる」など、身近な工夫から取り組みましょう。

■ 廃棄物・リサイクル課(☎017-718-1179)

1 青森市のごみは多い(重い)!

令和6年度の一般廃棄物実態調査によると、青森市の1人一日当たりのごみ排出量は965g。全国平均の839gより126g多い状況です。(おおよそおにぎり1個分)



青森市のごみ処理に係る費用
(令和6年度)

市民1人当たり 年間 約12,000円

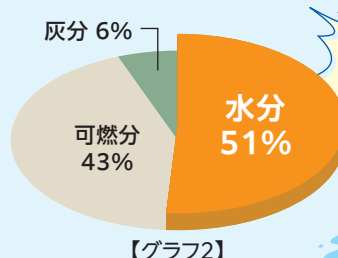
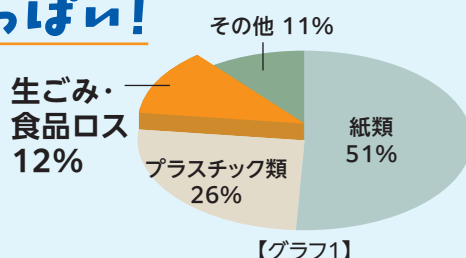
4人家族だと 年間 約48,000円
(青森市全体では約31億円)

どうして青森市のごみはこんなに多いのかな?

2 実は、ごみの中には水がたっぷり!

青森市清掃工場で行った可燃ごみの組成分析では、可燃ごみの12%(約1/8)が「生ごみ・食品ロス」。

※グラフ1
さらに、可燃ごみの三成分分析では、可燃ごみの約50%(約半分)が「水分」です。※グラフ2



ごみの半分、
ただの水です!

3 じゃあ、水分の多い生ごみをどう減らす?

1 食材は「使いきる」

買った食材、最後まで使っていますか?

- 野菜や果物の皮、へた、芯は、捨てる部分をできるだけ少なく。
- 週に一度は「冷蔵庫一掃デー」! 冷蔵庫の中身をチェックして、使い忘れを防ぎましょう。



2 料理は「食べきる」

作った料理、残していませんか?

- 食べる人や量に合わせて、作り過ぎないことも食品ロス削減に。
- 余った料理は、アレンジしたり、冷凍したりして、最後までおいしく食べきりましょう。



3 生ごみは「水気をきる」

ごみになる前にもうひと工夫!

- 生ごみは、捨てる前に「ギュッ」と水気をきりましょう。
- 野菜や果物は、洗う前に皮をむくと、捨てる部分に余計な水分がつきません。



ポイントは、『3つのきる』だよ!

豆知識 食材を「使いきる」ための保存術

キャベツ

芯を取り除き、湿らせたキッチンペーパーを詰めて保存。



きゅうり

水気をきり、ラップかポリ袋に入れて保存。



レタス

切り口に湿らせたキッチンペーパーを当て、外側の葉で包んで保存。



だいこん

切り口にラップをし、切り口を上にして保存。葉は冷凍も◎



にんじん

しっかり乾燥させて保存。冬は冷暗所がおすすめ。



ねぎ

立てて保存。葉先を出して新聞紙に包むと長持ち。



エコごはん料理教室

青森の身近な食材をまるごと使って、できるだけ生ごみを発生させない、家庭にも環境にもやさしくおいしい「エコごはん」にチャレンジ!

時 11/21(土) ①10:00~12:30、②13:30~16:00

所 西部市民センター2階 調理実習室

人 ①②ともに各12人(小学生以下は保護者同伴)

備 エプロン・三角巾・ふきん持参

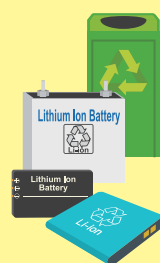
申 問 11/13(金)までに、廃棄物・リサイクル課
(☎017-718-1179)へ

もう一つの「使いきる」
火災を防ぐためにも「使いきる」を!

リチウムイオン電池など

中身を使いきり、他のごみと混ぜないように出しましょう。

- ①市が設置している拠点回収ボックスに、袋に入れずに出しましょう。
- ②メーカーの自主回収や家電量販店などの販売協力店を利用しましょう。
- ③膨張してしまっているものは市の窓口へ!



エアゾール缶(スプレー缶)・カセットボンベ

中身を使いきり、袋に入れず、ごみ収集場所の回収容器へ出しましょう。



ライター

中身を使いきり、透明な袋に入れて、ごみ収集場所の回収容器へ出しましょう。



乾電池・コイン電池(型番がCR/BRで始まるもの)

中身を使いきり、両極をセロハンテープなどで絶縁し、透明な袋に入れて、ごみ収集場所の回収容器へ出しましょう。



「3つのきる」+もう一つの「使いきる」が、
ごみの減量と安全なごみ処理につながります!

令和8年8月17日
青森市清掃工場で
火災が発生しました



排気ダクトから黒煙



出火場所から
発見された危険物

- 充電式の加熱式たばこ
- 電気髭剃り器
- ライターなど

11月はリチウムイオン電池による
火災防止月間です

詳細は環境省の特設サイトをご覧ください

©環境省/環境省リチウムイオン電池火災防止啓発キャラクター「リチウム蓄電池の疾走」

環境省HP

